

県立保健医療大学 看護学科の定員増へ

6月2日に開かれた定例記者会見で、吉村美恵子知事は、県立保健医療大学看護学科の入学定員を10名増やし63名にする

と発表しました。同大学は、文科省に定員増の変更認可申請を行っています。

増員する10名については、県内出身者で卒業後も県内で医療活動に従事する人を対象に、面接や書類選考を重視した選考で決定するもので、新卒、既卒は問わないとしています。



山形県食糧連合会であいさつする渡辺ゆり子県議

私は、2012年の12月定例会の厚生環境常任委員会で見守り確保について質問し、県は「県立保健医療大学の定員増に向け検討する。その際、地域の看護師不足解消につながる仕組みについても検討したい」と答弁していました。また、昨年6月定例会の予算特別委員会では「定員増に向けて、具体的に検討中」と答えていました。

県は、看護師不足を解消するためサポートプログラムを策定し、新卒看護師の確保、県内定着、看護師の離職防止や再就職支援、そして看護教員養成講習会の県内開催などに力を入れてきました。しかし、それでも必要とされる看護師数には不足しており、募集をしても採用枠が満たされない医療機関が多くあります。今回、県が看護師養成



こんにちは

渡辺ゆり子

2014年6月15日
-65号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

ゆり子の 視点

消費税 増税の重み

市内北部の共産党後援会主催の「お茶の間懇談会」に出かけました。10人

前後の参加者で近所の高齢者が半数以上を占めていました。「消費税増税になつて2ヶ月たちました。消費増税にどうですか」と聞いてみました。

「年寄りでも使えないから近いところまで買い物をするの間に食えないわ、かきに行かないから必

要なものを買わなければならぬ。年金も減っているし、ほんとに困る。通院費もかかるが、切実な声があがります。消費税増税を主張し続け

一方で大企業は内部留保を積み増し、トヨタは5年間法人税支払いがゼロだったことが明らかになっています。格差が広がるばかりです。怒りをもって消費税増

6月7日、国民の食糧と健康を守る運動山形県連絡会の総会に参加しました。参加者からTPP反対の行動、震災と原発事故による被災地支援の取り組みなどの報告や発言がありました。

私は、「安倍政権の農協改革については、協同組合の国際的組織も批判している。強硬姿勢に対する反対運動の展望が広がり、食健連の役割はさらに重要になっている。ともにがんばろう」と激励のあいさつを行いました。



5月25日県母親大会に参加

学産保育 低所得者への利用料支援広がる

県は、2012年から放課後児童クラブの保育料支援を行っています。生活保護や就業援助を受けている世帯に対して、月額料金の二分の一(上限5000円)を県と市町村で負担する内容を、2012年の実績は、23自治体185カ所、750人で1529万4千円のを

補助額になっていきます。2013年度は25自治体で2153万円の実績となる見込みで、今年度も1自治体が新たに組み込む予定です。

5月30日開かれた山形市学産保育連絡協議会の総会では、指導員の処遇改善や施設の耐震化補助などと

ともに、県の施策の前進が紹介され、県連絡協議会の組織の取り組みや運動の重要性が報告されました。働きながら子育てをする家庭、特にひとり親家庭などにとって学産保育は保育所とともになくてはならない施設です。保護者や指導員、関係者の子どもたちを思う熱いエネルギーが行政を動かしています。